

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

社協だより

89

令和3年1月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

謹賀新年

健康クラブ
さわやか班
のみなさん

祝敬老の日

敬老の日
記念撮影



新年、明けましておめでとうございます。地域住民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、社会福祉協議会の事業推進につきまして、多大なるご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

2020年は、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、「新しい生活様式」による暮らしを余儀なくされました。また、経済にも大きな影響を与えています。気軽に集うことが難しくなった今、形を変え工夫し、つながり続けながら、安心して暮らせる日々を目指し、地域の皆様と共に取り組んで参る所存です。

未だ感染の終息の見えない中ではありますが、この新しい年が、より佳き年になるよう心より祈念致します。本年も変わらぬご支援ご厚誼を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



八幡浜市社会福祉協議会
会長 清家 俊蔵

それぞれの形で頑張っています！ 第二層協議体・地域の活動レポート

川上地区

既存の形にとられない集いの場づくり、頑張っています！

令和2年9月16日(水)、川上地区にて、『川上のお宝 発表会』川上地域カフェを開催しました。当日は、感染予防のため短い滞在時間で参加いただきました。

地区社協や公民館、川名津神楽保存会、その他地域の皆さんのご協力を受け、開催に至りました。

川上地区には、ふれあい・いきいき



展示された写真などを見る参加者

サロンや老人会等の既存の形を取らない小さな集まりがたくさんあります。今回の発表会では、それぞれの団体・集まりの取り組みを『地域のお宝』と称しました。ゲートボールの集まり『川上グラウンド愛好会』『スマイルミーティング』や、気軽に遊べるサロン『ゆりの会』『フレッシュシニア』、その他公民館で行っている趣味の会等、15団体がエントリーし、活動内容や写真を展示しました。

また、川名津神楽の大蛇や演目で使用する多数の面を飾ったり、過去の動



迫力の大蛇(手前)と多くの面(奥)

画を流したりしながら、感染防止のため中止となった地域のお祭りを楽しみました。おしゃべりができるスペースや、おもちゃを設置したキッズスペースを設けることで、日頃集う機会が減る中、つかの間の交流の機会となりました。

喜須来地区（第二層協議体）
地域の気になることをしっかり話し合い一つひとつ解決に向けて

第二層協議体として、喜須来地区公民館で週に1回、誰でも参加可能な居場所『いきいき喫茶』を開催してきた喜須来地区。

令和2年度に入り、より地域のことを話し合う機会を充実させたいとの思いから、令和2年7月2日(木)、メンバー新たに第一回目の会議を開催しました。最初の議題は、会の名称をどうするか。話し合いの結果、いきいきと、「みんなで生きたい」「みんなで行きたい」そして「住み慣れた喜須来で逝きたい」など、様々な思いを込めて、『いきいききたい』と名付けられました。その後、毎月集まりながら、日々の生活で気になることやメンバーそれぞれの取り組み等の情報を共有しています。



クリーン作戦の様子

【これまでの活動】

・空き家になっていく危険な家屋について、市空き家対策係につなぎ、進入禁止テープを設置してもらう。また、メンバーにより立入禁止看板を設置。

・介護サービス利用中の独居高齢者。ゴミ出し支援について、担当ケアマネジャーも交えながら支援方法を検討。メンバー及び近隣住民により、ボランティアによるゴミ出し支援に至る。

・地域に根付いてきた『庚申堂(こうしんどう)』の清掃の呼びかけ。等、話し合いから実践につなげています。令和2年11月21日(土)9時より、地区公民館を拠点に国道沿いを清掃す



定例会で活動や日々の情報を交換

平成30年に結成した有償ボランティア『大島おたすけ隊』を中心に、島民の困りごとの支援を続けています。結成のきっかけになったのは、島の山手に位置し足腰が弱った高齢者には行くことが難しくなっている、お墓の手入れ。彼岸や正月前には、現在でも多く

大島地区（第二層協議体）
有償ボランティアで地域の支え合い

る『グリーン作戦』を開催。38名の参加を得て、約1時間国道沿いを清掃しました。
引き続き地域の声に耳を傾けながら、『いきいきしたい』と地域の方、関係者と話し合っています。

市内で一番早く第二層協議体として活動を始めた千丈地区。これまで、買い物困難者の声を受け、フジと協働で移動スーパールのコースを検討したり、荒れ放題になっていた新開町の花壇を造園組合やJ.R、民生委員・児童委員や近隣住民の協力を得ながら整備し、年に2回花を植え、道行く人の目を楽

千丈地区（第二層協議体）
市の玄関口にある花壇を整備
地域の課題に取り組んでいます

・農作業
・布団干しや季節衣類の交換
等、日々の暮らしを支える活動になっています。

の依頼が入り、掃除やシキミの供え、周辺の草刈りなどを行っています。
最近では、依頼の幅が広がってきています。
・家庭ごみを収集場所まで運ぶ。
・ペンキの塗り替えや大工仕事（大島まで業者を呼ぶと、多額の費用がかかることもある）
・定期船で運ばれてきた荷物を各家庭まで配達。
・手続きの手伝い（書類の書き方を一緒に確認、提出等）

しませたりと、地域の課題に関心を持ち、様々な発展を遂げています。連携を密にするべく組織した『下ごしらえの会』が事務局及び実動の役割を担いながら、自分たちも楽しみながら取り組んでいます。
令和2年度は、子ども食堂を開けないかと協議していましたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、一時的に断っています。そんな中、宇和島市にて地域食堂や配食サービス、集いの場づくり等に取り組んでいる『地域づくり推進事業所もみの木』及び『島の保健室』に視察に行きました。
先進事例を学びながら、コロナ禍でできる活動を考えていきます。



パンジーとスノーポールを植える

白浜地区（第二層協議体）
子どもから高齢者、障がいがあってもなくても共に支え合う仲間づくりを目指して

令和元年末に立ち上がった白浜地区『チームだん畑』では、コロナ禍の影響を受けながら、どのような活動を行うか、協議を重ねてきました。
地区・市内の店舗や企業の協力や、みかん農家、個人に多くの協力を得て、令和2年12月末、ひとり親世帯等に食料をプレゼントする企画を実施する予定です。その様子は、来月号に掲載予定です。



チームだん畑のみなさんと社協職員

赤い羽根共同募金配分委員会を開催しました



令和2年11月19日(木)、八幡浜市保健福祉総合センターにて、令和2年度第2回八幡浜市共同募金配分委員会を開催しました。

市民の皆様から寄せられた善意の募金を赤い羽根共同募金運動の趣旨に沿い、ボランティア団体の住民福祉向上に寄付する先駆的な地域福祉の事業に對して、1事業3万円以内を助成します。第1回八幡浜市共同募金配分委員会で、5団体5事業の申請の助成を承認しました。今回は2団体2事業の申請を受け、すべての申請の助成を承認しました。

団体名	わたがし	八幡浜市・八幡浜保内赤十字奉仕団
活動内容	認知症ケア専門士が集まり、認知症介護を支えるために、福祉教育やサロン、家族介護教室等に協力している。	赤十字の理念に基づいて、様々なボランティア活動に取り組む。令和元年度末、6分団324名が登録している。
事業名	地域・ご近所認知症カフェ事業	もっきんロード花壇整備事業
事業内容	移動式の認知症カフェ開催の準備として、持ち運び可能な机やイス等を購入する。	日赤川の石分団が中心となり、もっきんロード沿いの花壇を整備し、地元住民や観光客に心の安らぎをもってもらおう。

八幡浜市内の1事業3万円を上限とする助成について、ボランティア団体へアンケートをとったこと及び愛媛県内の共同募金配分助成事業について事務局より委員へ報告しました。協議の結果、令和3年度より、八幡浜市共同募金配分助成事業については、増額する方向で検討することとなりました。詳細は令和3年度に本助成事業を募集する際にお知らせ致します。

また、コロナ禍で地域住民が厳しい暮らしを強いられていることや街頭募金が例年のように取り組めない中での募金運動の現状について報告しました。(ひとり親世帯等支援事業の実施、街宣車の導入、職域募金の拡大の協力をいただいたこと、劇場版鬼滅の刃『無限列車編』のクリアファイルの活用等)なお、令和2年度はコロナ禍の影響

を受け、残念ながら愛媛県社会福祉大会は中止となりました。八幡浜市内では、神山地区 井野榮允氏と舌田地区 矢野利勝氏が愛媛県共同募金会会長表彰を受賞されました。お二人とも、長年にわたり、民生委員児童委員として赤い羽根共同募金運動にご尽力されています。配分委員でもある矢野氏へ感謝状をお渡ししました。



赤い羽根共同募金



© KG/S, A, U



令和2年度「はまかせ♡スクール」開講 精神障がいを持つ方も安心して暮らせる地域を目指して

『はまかせ♡スクール』は、精神障がいを抱える当事者が安心して地域で暮らすために、良き理解者・応援者を増やすことを目的に開講しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座数を全2回に減らし、精神保健ボランティアグループはまかせ（以下、はまかせ）の会員を対象に実施しました。

10月29日（木）の第1回講座では、我が国の五大疾病の一つである『精神疾患』について、その正しい理解を深め、予防や症状のサインについて改めて学ぶ機会とし、あわせて八幡浜市の取組みについても学びました。後半のグループワークは、はまかせの皆さんが日ごろから活動で感じている疑問や聞いてみたいことなどを出し合う場となり、「はまかせと一緒に活動するけど、なかなか会話が続かない」という悩みに対して、「実は当事者も悩んでいる」「そこにいるだけで安心する人もいる」と、寄り添うことが大切であることを学びました。

11月24日（火）の第2回講座では、



第1回講座グループワークの様子

ピアサポーターのAさんと、はまかせの会員が登壇しました。ピアサポーターは、精神障がいを抱える当事者が自身の体験などを話し、同じ障がいを持つ方の支えとなったり、精神疾患や当事者の暮らしに対する正しい理解普及啓発などを進めたりする役割を担っています。八幡浜保健所管内で初めてのピアサポーター登録となったAさんから、自身の発症や入院時の思い、退院を通じて感じたこと、今の暮らしやこれからのことについて話されました。

後半では、はまかせが主体となつて、地域活動支援センターくじらで月に1

回行っている活動の場『はまかせさん』について語り合いました。『はまかせさん』は、はまかせの会員が「公的なサービス以外に集まる場所があればもっと地域で暮らしやすくなるのではないか」という思いから、平成28年11月に誕生しました。固定したプログラムは作らず、その時にやりたいことをやったり、話したいことを話したりして、気負わず自由に活動しています。

Aさんは『はまかせさん』の活動を通じて、地域の人と出会い、知り合いが増えたとのことで「街を歩いていると声をかけてもらえることが嬉しい」と話されました。活動の日に会員の皆さんが持ち寄り手づくりのおまんじゅうは「おふくろが作ってくれたことを思い出して嬉しくなる」とAさん。「作るのが好きで持つて行っていただけると、そんな風に思つて食べてもらっているとは思わなくて、すごく嬉しいです」と温かなエピソードも語られました。

Aさんは、これまでの入退院、地域での暮らしを振り返つて「入院中は放つておかれているような気がして、もう忘れられているんじゃないかと思うこともありました。退院しようと思うと自己主張をしなければいけないと

思いましたが、黙つていてもみんな退院したいと思つています。退院するにはきっかけが必要です。僕のこの話が退院のきっかけになればと思つています。そして、今はこうしてなんとか生活ができています。これまでは入院と言われれば反対する人はいませんでした。だけど、今はみなさんが居てくれます。今の暮らしが幸せです」と話され、自分に心と居場所があることを感謝されました。はまかせ会員も「活動を振り返ることが出来て良かった。自分たちの活動が役に立っているのだと知ることができた。これからも活動を続けていきたい」と感想を述べられ、和やかな雰囲気でした。



Aさんの言葉に熱心に耳を傾ける参加者のみなさん

出張研修会 『高齢者虐待防止研修会』

〜より良い支援を目指して〜

八幡浜市権利擁護センターでは、介護保険サービス事業所等に向き、出張研修会を開催しています。

今回は、11月13日（金）午後5時30分から午後6時30分の1時間、介護老人保健施設西安（以下、西安）にて、全職員を対象とした『高齢者虐待防止研修』を行いました。西安では毎年、高齢者虐待防止を目的とした研修を行っており、今回は30名以上の介護職員、看護職員、セラピスト、支援相談員等が参加し、日々の業務を振り返りました。

高齢者虐待は突然起こるものではなく、ちよつとした『不適切なケア』が繰り返されることで大きな虐待へとつながっていきます。自分たちの支援が利用者の権利擁護のための支援になっているのかを、日常の業務の中で振り返ることが大切です。言い換えれば、支援者は虐待をしないための支援ではなく、利用者がその人らしく暮らせるための支援を実現することがより良い支援へとつながります。

参加した職員からは「日々業務を

する中で忘れてしまっていた大切なことに改めて気づかされた」「客観的に自分自身の介護を見つめなおす良い機会となった」などの感想をいただきました。

【出張研修の依頼・相談】

八幡浜市社会福祉協議会

（八幡浜市権利擁護センター）

☎ 23・2940



研修会の様子

福祉教育

車いすランナー井上聡さんを招いて



みんなで集合写真

令和2年11月26日（木）、川之石小学校4年生の授業にて、車いすランナーの井上聡さんを講師に招いて、授業が行われました。

井上さんは、2012年ロンドンパラリンピックにて8位入賞を果たし、現在も開催予定の東京パラリンピックの出場を目指して日々トレーニングに励まれている、現役車いす陸上選手。この日の授業では、自身の障がいや日々の暮らしについて、写真や動画を映しながら、分かりやすくお話いただきました。「両肩と腕の一部を除いた首から下のほとんどが動かない状態だ

けど、家の中や車の運転など、自分でできるように工夫をしながら生活している」と語る井上さん。児童もうなずき、時に前のめりになりながらお話を聞いていました。

後半は、なかよしクラブのご協力を得て準備した車いすを用いて、井上さんに声をかけてもらいながら、乗ってみたり、押してみたりと体験をしました。最後に行ったりりレーでは、声援や歓声が飛び交い、大盛り上がりとなりました。

児童からは、「車いすを使って生活している人の印象が変わった」などの感想がありました。



ジグザグ道も徐々に上手に走行

生活福祉資金貸付事業

教育支援資金のご案内



就学・進学に必要な費用にお困りの方へ

まずは、他の貸付制度もご確認ください。

令和2年度より、新しい**修学支援制度**が始まります。
(減免・給付型)
詳しくは、**日本学生支援機構**
ホームページをご覧ください。

	貸付制度	相談窓口
高校への進学	愛媛県奨学金資金	在籍する学校
大学等への進学	日本学生支援機構奨学金	在籍する学校
	母子父子寡婦福祉資金	八幡浜市役所 子育て支援課

教育支援資金

※他の奨学金制度との併用が可能です。

就学支度費 (入学に際し必要な費用)	貸付限度額	50万円以内
	貸付期間	入学時に一括貸付(※入学後は利用できません。)
	据置期間	卒業後6ヵ月以内
	返済期間	据置期間経過後12年以内
	貸付利子	無利子
	使途内容の例	入学金等入学時に学校へ納入する経費 制服、靴、体操着など入学時に一括して購入するもの
教育支援費 (在学中に必要な費用)	貸付限度額	高等学校 月額35,000円以内(専修学校高等課程含む) 高等専門学校 月額60,000円以内 短期大学 月額60,000円以内(専修学校の専門課程含む) 大学 月額65,000円以内 ※特に必要と認められ、かつ将来計画が明確に定められる場合は上記の1.5倍まで増額可能。
	貸付期間	在学中
	据置期間	卒業後6ヵ月以内
	返済期間	据置期間経過後12年以内
	貸付利子	無利子
	使途内容の例	授業料、学校納入費用、参考書、学用品、交通費

生活のこと、家計のこと、仕事のことなど、生活のしづらさを感じた時、
まずはご連絡ください。電話、訪問、来所など、ご希望の方法でお話を伺います。

お問合せ先：八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL：0894-23-2940

令和2年度八幡浜市社会福祉大会 中止のお知らせ

令和3年1月23日(土)に開催を予定しておりました「令和2年度八幡浜市社会福祉大会」につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される状況を受け、参加者及び関係者の皆様の健康・安全を第一に考慮した結果、開催を中止することといたしました。

なお、式典は執り行いませんが、各種表彰については個別に表彰します。来月号にて、受賞者をご紹介します。



令和元年度開催時の様子

令和2年度愛媛県社会福祉大会 表彰者のご紹介

愛媛県社会福祉大会も、感染状況を鑑み中止となりました。

八幡浜市の表彰者をご紹介します。

愛媛県知事表彰

1. 民生・児童委員 菊池 省三氏

愛媛県社会福祉協議会会長表彰

1. 民生委員・児童委員功労 浜本 璋氏

愛媛県共同募金会会長表彰

1. 奉仕功労者 井野 榮允氏・矢野 利勝氏

第33回福祉のつどい『写真展』

コロナに負けない！笑顔の記憶 ～今までのあゆみ、そしてこれから～

例年5月末頃に開催していた福祉のつどいは、感染防止の観点により中止としました。しかし、長年続いてきた集いの機会を絶やさない方法を模索し、『写真展』という形で開催することとなりました。

過去の様子や、参画団体の普段のボランティア活動の様子などを展示します。

入場無料

来場者には、プレゼントも準備しています！
お気軽にお越しください。

日時 令和3年2月13日(土) 12時00分～17時00分
14日(日) 9時00分～15時00分

場所 道の駅みなとオアシス 八幡浜みなと内
みなと交流館

内容 ■ 写真や動画の展示・上映
■ 近隣作業所等の商品即売

備考 ■ 会場内では、3密を回避し感染予防対策を行います。
■ ご来場の際には、マスクの着用及び手指消毒のご協力をお願いします。

